

平成23年度安曇野市健康づくり推進協議会（第2回） 会議概要

1	審議会名	平成23年度安曇野市健康づくり推進協議会（第2回）会議
2	日 時	平成23年12月5日 午後1時30分から午後3時まで
3	会 場	穂高健康支援センター 集団指導室
4	出席者	高橋委員、下條委員、南沢係長（中村委員代理）、平林委員、浅見委員、 板花委員、那須委員、田口委員、高橋委員、中澤委員、藤森委員、竹岡委員 （欠席：青柳委員、曾根原委員）
5	市側出席者	場々健康推進課長、奥村課長補佐、宮澤課長補佐、塚田係長、丸山係長、 太田係長、小林国保年金担当係長、高橋係長、久保田保健師、青柳管理栄養 士、上条保健師、笠井歯科衛生士、関主査、乗松保健師、橋詰保健師
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成23年12月6日
協 議 事 項 等		
1	会議概要	
1	開会	
2	会長あいさつ	
3	協議事項	
	(1)	平成23年度事業報告について（中間報告）
	(2)	安曇野市の糖尿病予防計画
	(3)	平成24年度保健事業計画（案）について
	(4)	その他
4	閉 会	
2	協議概要	
	*資料の訂正	
	・次第の曜日	金→月
	・母子事業報告 P2	2歳6ヵ月受診率 64.9→94.9%
	・糖尿病予防計画 P4	印刷が出ていない部分あり 差し替え
	・糖尿病予防計画 P10	()内 不良→不可
	・24年度保健事業計画	P2と3が逆
	(1)	平成23年度事業報告について（中間報告）（事務局説明）
	(委 員)	母子保健のメンタル対策はどのように行っているか。訪問指導でいいのか？
	(事務局)	産後のうつ対策としては、問診で高得点となった、危険度の高い人に訪問などの個別対応をしている。
	(委 員)	実施してみて、手ごたえや効果はどうか？
	(事務局)	半年間、集中的にフォローすることで、だいぶ本人が変わってくる。
	(委 員)	虐待につながった事例はあるか？
	(事務局)	事件性のあるものはない。
	(委 員)	成人保健の緊急訪問事例は、医療につながっているか確認しているか？
	(事務局)	確認はしているが、何年も未受診という人もいる。これについては台帳を作成して個別に対応したい。

(2) 安曇野市の糖尿病予防計画について（事務局説明）

(委員) 食育計画においても、なにか実施することがあるか？

(事務局) 今回の計画が25年度終了のため、来年度はアンケートを行う。次回の計画では糖尿病対策も出されているので、小中学生の血液検査についても入れたい。
また、応募されたレシピのカロリー計算も行ったので、希望があればお教えする。

(委員) 歯周病と糖尿病の関係については？

(副会長) 資料を見てほしい。以前は歯周病と糖尿病の関係についてはあまり取り上げられなかったが、今は歯周病の治療をした人のHbA1cの変化について、治療により改善するという見解が出ている。

(3) 平成24年度保健事業計画（案）について（事務局説明）

(委員) こころの健康づくりも大切だが、認知症の高齢者が多い気がする。早期発見などの対策はどうするか？

(事務局) 現在、高齢者介護課で対応しているが、若いころからの対策が必要である。
そのため、今後高齢者介護課と打ち合わせをする予定である。

(委員) 任意の3ワクチンについては、補助の継続を希望したい。

(委員) がん検診の受診率を知るためには特定健診のようにドック等、医療機関からの情報をもらうことを検討してみてもどうか。

(委員) 肝炎の節目検診は、安曇野市単独の事業か？

(事務局) 肝炎検診は合併前に5年間実施していたが受診者が伸びず、今回補助の話がでた。
今回の補助は全国的なものだが、実施するかはその市町村の判断となる。

(委員) 来年度も女性がん検診補助の継続はされるのか？

(事務局) まだ、国から来ていないのではっきりしないが、継続を希望したい。

(委員) 肺がんCT検診のクーポン券導入も検討してほしい。

(事務局) 国保の対象者にかぎり、24年度から自己負担2000円のところ1000円を補助して半額で受けられることを検討している。

(委員) 日赤に産婦人科医が増える事により、がん検診の方法など変わるか。

(事務局) 現在も日赤では実施しており、特に変わることはない。

(委員) 放射能に対する心配もあるが、ミネラル不足の土地にできた野菜ではいけない。
西会津町ではミネラルの多い野菜を食べて脳卒中やがんが減り、医療費も下がったと聞いている。食は大切で、土台作りである。いいことは真似をしたほうがいい。
また、安曇野には世界一の食材が作れる人材がいるので、有効活用したらどうか。

(委員) 西会津町では、土づくりだけでなく、血圧のコントロールのための取組みをしたようである。

(委員) 災害時の訓練の方法について、地域の訓練時に医療救護訓練を入れるなどして、市民に医療救護活動について知ってもらうなどの工夫をしたらどうか？

(事務局) 救護マニュアルについての周知を図るためにも、広報やチラシで周知したい。また、訓練は危機管理室が主体となっているが、どのように実施するか、打ち合わせをしていきたい。

(委員) 市で実施した放射能の測定結果を見ているが、内容はどうか？

(事務局) 空間測定ができる機器が50万、食物などの平面を測定できる機器を40万円で購入した。生活環境係が行っている。

内部まで測定できる機器は高価であり、市にはない。そのため、食物も表面のみ測定できる。

(委員) 子ども、妊婦、生殖可能年齢の住民を被爆から防ぐことについて、検討していかなくてはいけないと思う。

(委員) 高齢者のインフルエンザは65歳以上が1000円ででき、ありがたい。

今年は薬が足りなくなって、すでに予約を受けない医療機関もあると聞いたがどうか。

(会長) 1つの製薬会社が出荷できず、そことしか取引をしていなかった医療機関は不足した。今は流通は良くなってきて、不足については聞いていない。

(4) その他
特になし